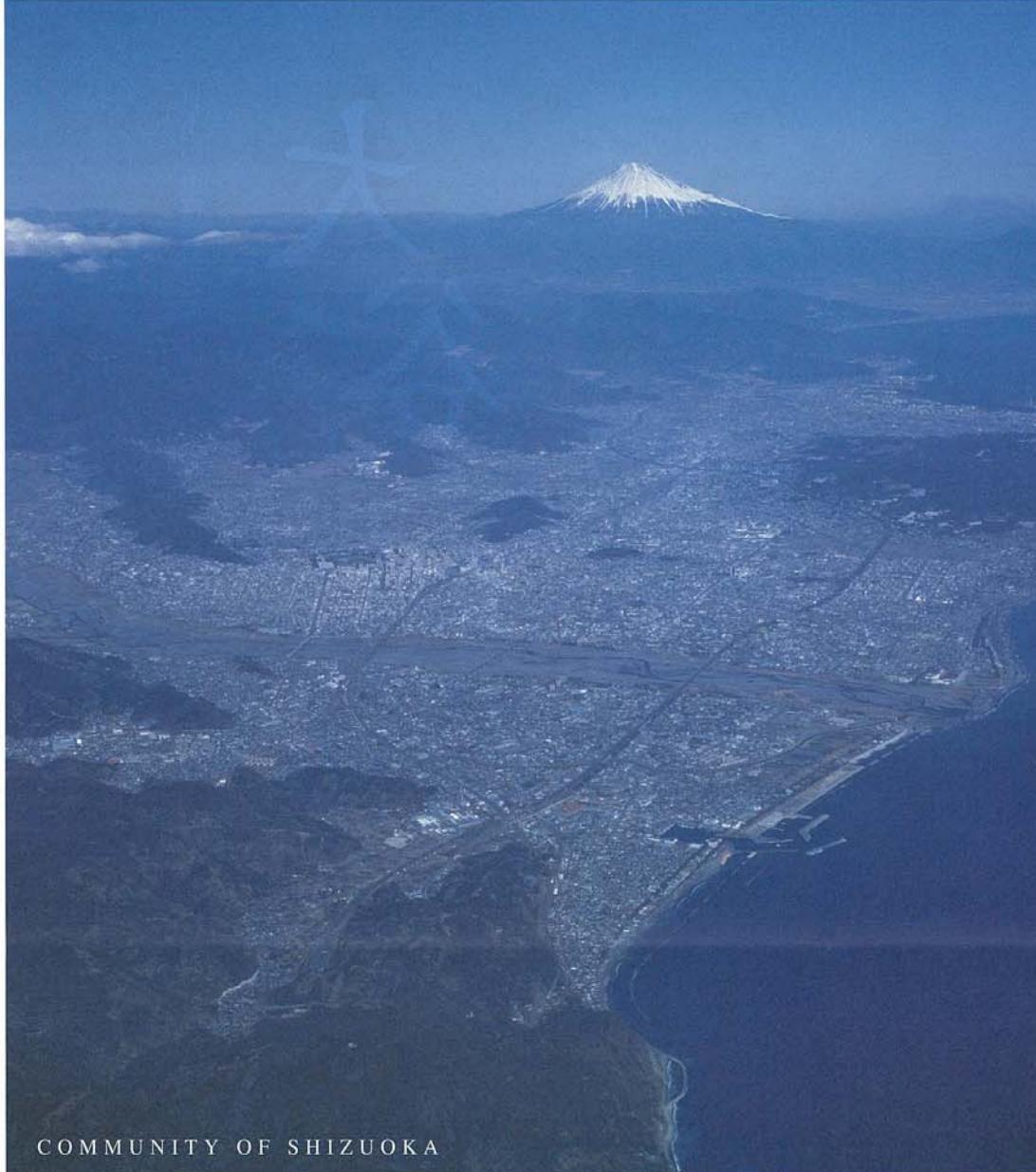


葵区
駿河区
清水区

しづおか 自治連だより

発行 静岡市自治会連合会／編集 広報編集委員会
二〇〇八年(平成二十年)二月一日発行 / 発行部数 二十五万三千四百部



COMMUNITY OF SHIZUOKA

清水区
SHIMIZU



濱崎 岩雄
静岡市自治会連合会 副会長

駿河区
SURUGA



岩崎 錄四郎
静岡市自治会連合会 副会長

葵区
AOI



岸本 俊秋
静岡市自治会連合会 副会長



私たちも静岡市自治会連合会では役員一同協力し、色々な観点から活発な自治会、町内会活動の実践を図り、政令指定都市静岡としてふさわしい地域づくり、まちづくりを推進しています。今後も行政・議会・地域による三位一体のまちづくりを推進していくります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

静岡市自治会連合会 会長 市川 源一



小嶋 善吉
静岡市長

発行によせて

「しづおか自治連だより」発刊おめでとうございます。平成十八年、三区がつとなつた静岡市自治会連合会の積極的な活動は様々な場面で拝見しております。まちづくりの基本は、自治会・町内会の活動にあると思っております。これまでの行政へのご協力にお礼申し上げますとともに、今後もさらなるご活躍を期待しております。

今日の私たちを取り巻く地域環境は治安の面をはじめとして様々な問題が山積しております。これらの様々な問題について、地域の組織である自治会、町内会は長年にわたり、取り組みを続け、成果をあげてまいりました。今後も、自治会に寄せられる期待は大きなものがあると思いますので、行政との連絡を密にし、地域のけん引役として、安全で住みよい地域づくりに努めてまいりたいと思います。



崖の麓の石碑に「崩壊は悔る」となく、その陽子の風のもとに、皮のむけ崩れた肌をさらして、凝然と、こちら向きに静まっていた。」と、作家幸田文の名文が刻まれています。

冬は雪に閉ざされますが、春になつたらぜひ訪れてみては如何ですか。素晴らしい新緑と広大な岩肌の景観が、静寂のなかで出迎えてくれます。

賤機南学区連合町内会長
鈴木健治記



清水駒越連合自治会は、二年前に住民の希望によりホームページを立ち上げました。静岡市で最初です。駒越を全国に知ってもらおう、を目的として、お互いの融和を図る自治会活動内容、特に駒越地区協同の楽しい記事や、地元特産品の石垣いちごと枝豆（愛称「駒豆」こまめ）の紹介など興味いっぱいです。

開設以来千七百回以上の来



清水駒越連合自治会ホームページアドレス
<http://www.geocities.jp/simikoma/index.html>

清水区自治会の活動

清水駒越ホームページへようこそ

清水駒越連合自治会は、二年前に住民の希望によりホームページを立ち上げました。静岡市で最初です。駒越を全国に知ってもらおう、を目的として、お互いの融和を図る自治会活動内容、特に駒越地区協同の楽しい記事や、地元特産品の石垣いちごと枝豆（愛称「駒豆」こまめ）の紹介など興味いっぱいです。

開設以来千七百回以上の来

私は自治会・町内会の目的は地域福祉の向上・安心・安全な街づくりにあるわけです。住みよい駿河区を更に良くする為防犯・防災・交通安全・環境美化等を行政と協働で一歩も二歩も前進させたいと思います。特に区内公共広場及び自宅周辺の清掃活動を定着させたい思います。又駿河区は安倍川を皆さんで駅南地区と長田地区に

駿河区自治会・町内会の活動

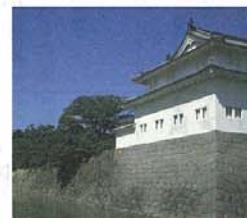
住みよい駿河区をさらに住みよく

分れて居りますが一地域の交流・交通アクセスの改善もすすめたいと思います。



清掃活動風景

JR東海道線までの広い地域です。日本「きれいな水の都静岡」です。このすばらしい環境を守り次世代につなぐ任務があります。緑を守り水の保全のため地域から環境整備に努力して参りたいと思います。すばらしい自然と多くの史跡をもつ、人の集まる街静岡をめざし、中央商店街活性化をばかり、活き活き



駿府公園茶室

葵区自治会・町内会の活動

人の集まるまち静岡に「むけて

葵区は南アルプスの山々から日本「きれいな水の都静岡」です。このすばらしい環境を守り次世代につなぐ任務があります。

した「まちづくり」にむけ自治会として努力して参ります。

三区 自治会・町内会の活動紹介



宝永地震から三百年

日本二の清流安倍川は、静岡・清水平野と三保半島の生みの母 河口から五十二秆、源流部に聳える大谷崩れ

大谷崩れ

田子の浦に

うちいでて見れば奇妙の

富士の高嶺に

雪は降りつつ

万葉の歌聖山部赤人が壯大清澄な富士の山容を象徴的にとらえた歌です。

この雲峰富士を眺める絶好のポイントは、青松映える三保の松原が一番です。

三保半島のルーツを辿ると、安倍川の源流部(梅ヶ島)に聳える大谷崩れに到ります。大雨が降ると、多量の砂礫が駿河湾に流出し、潮流と波の力で三保半島に運ばれるのです。

大谷崩れは、日本三大崩れの一つです。標高二千メートルの大谷嶺の山腹が大きく崩壊した跡で、約八百メートルの高さで訪れる人を威圧しています。崩壊が始まつた時代は定かではありませんが、今から三百年前、富士山の大噴火とともに起きた宝永地震で、大規模に崩れたと言われます。

今も国交省の山腹工事が続けられ、市内の学校や市民団体の有志の皆さんのが植栽のボランティアとしてがんばっています。

清水区 自治会連合会活動紹介

協働によるまちづくり

清水区自治会連合会の前身は、大正十三年に第一回市議会議員選挙が行われた際に設立され、市町村合併を経て昭和三十二年に現在の組織に統一されました。現在清水区は、十九地区の連合自治会(二六自治会・五八〇隣組)で組織されており、毎月一回連合及び単位自治会でそれぞれ定例会を開催し、行政からの連絡事項や懸案事項について協議しています。当然のことながら、隣組あつての自治会、連合自治会であるとの考え方のもと、会員各世帯に連合自治会としての考え方方が伝わるよう努力しているところであります。清水区の特色としては、昭和五十年中ころより「住民がやること」「行政がやること」「行政と共に活動することで効果があること」を区分し、事業を進めてまいりました。まだ「協働」という言葉が戻る前のことです。主な事業として、ビン・カン・ペットボトルの分別収集、古紙の回収などを隣組の輪番制で行っています。私達清水区自治会連合会は、自分達の住むまちは、住民みずから手で良くしていくのは当然のことであり、自分達が出来ることは自分達で行い、より住み良いまちにするため、行政と協働でまちづくりを進めております。

蒲原地区の紹介

静岡市の東の玄関口となつた清水区蒲原地区は、南に駿河湾、東に富士川を配した、アルミニウム関連産業、缶詰・食品加工業などを中心とする工業のまちです。現在、人口二万二千八百人(約四千世帯)を有する蒲原地区連合自治会は、十九の単位自治会で構成し、各種団体やNPOとも連携する中、新しい蒲原のまちづくりを自らの手で築こうと活動を進めています。「御殿山の桜」「桜海老・じらす」「いわし削りぶし」の宿場まち蒲原をよろしくお願いします。

